

パール通信

vol.2
12.15.2009



p2 イベント報告

- ◎「得するくらしの料理教室」
- ◎平成二十一年度 第一回役員会・役員あいさつ

p3 イベント報告

- ◎講演会
「自然が教えてくれた健康と美容法」
- ◎「三重の街道探訪
～歴史ある町“関”を訪ねて～」

p4 会員活動紹介

- ◎有限会社たましん代表取締役
加藤一子さん

連載企画

- ◎「親バカ子自慢」 第二回
稲垣和美さんの三男 稲垣陽介くん

p5 連載企画

- 「組曲～コラボの現場～」 第二回
- ◎ひとの輪コンサート(亀山市)
- ◎食事処会津屋・水谷養蜂園株式会社

p6 会員活動紹介

- ◎株式会社くじラボ (四日市市)
- ◎株式会社タケコシ商事 (四日市市)
- ◎有限会社トヨダカメラ (亀山市)

p7 連載コラム

- 「ビューティーコンサルタント林かづの
伊勢志摩魅力再発見！」

p8 インフォメーション

- ◎パール倶楽部イベント案内
- ◎伊勢新聞社事業のおしらせ
- ◎編集後記

イベント報告

得するくらしの料理教室

伊勢茶と塩でババロア作り 本社パール倶楽部会員が自分磨き

伊勢新聞社パール倶楽部（中川千恵子会長）主催の初のイベント「得するくらしの料理教室」が九月十二日、四日市市栄町の東邦ガス四日市営業所ショールームであり、同市の中部調理製菓専門学校前野淳子統括主任を講師に迎え、同倶楽部会員ら二十三人が参加した。



ババロア作りを楽しむ参加者ら＝四日市市栄町の東邦ガスショールームで

●参加者の声

今回は三重県産の抹茶を使用し、ソースもフランスの海水から精製した岩塩とこだわりぬいてあります。岩塩に関しては、通常のものよりコクが出るのが特徴ですね。簡単に調理でき、盛り付けも工夫次第でお洒落になります。会報にレシピが掲載されていますので、参加出来なかった会員様は是非ご家庭で挑戦してみてください。

（学校法人古川学園 中部調理製菓専門学校 調理製菓統括主任 前野淳子氏）

子育てから離れて久しいので新鮮な感じがしますね。一人で調理をするのは二の足を踏んでしまいます。しかも、みんなで調理すると楽しいです。今回のイベントで料理教室の楽しさを知ることができました。

（四日市市在住 伊藤ふみ代さん）

私自身、保育園で調理師をしている事もあり、普段から無添加・手作りを信条に子供達へ食事を提供しています。今回の料理教室で抹茶ババロア作りを体験した感想は……簡単！ しかもおいしい！ これを機会に自宅でも作ってみます。

（鈴鹿市在住 村田さとみさん）

場 所…東邦ガス四日市営業所ショールーム二階料理スタジオ
主 催…株式会社伊勢新聞社
協 賛…東邦ガス株式会社、学校法人古川学園中部調理製菓専門学校
課題料理…抹茶ババロア・塩キャラメルソース添え

●抹茶のババロア 塩キャラメルソース添え

抹茶のババロア（8個分）

●卵黄……2個 ●牛乳……200g ●グラニュー糖……65g ●板ゼラチン……5g ●生クリーム(35%)……150g ●抹茶……6g ●熱湯……45g

- ①抹茶に熱湯を加えて溶かしておく。
- ②板ゼラチンは氷水にふやかしておく。
- ③卵黄にグラニュー糖の半分を加えて混ぜる。
- ④白っぽくなったら①を加え、さらに混ぜる。
- ⑤鍋に牛乳と残りのグラニュー糖を入れ、沸騰直前で温める。
- ⑥火を止めて②を加えて完全に溶かし、④に少量ずつ加える。
- ⑦中火で熱を加える。
- ⑧とろみが付いたら裏漉し、氷水に当てて冷やす。
- ⑨七分立てにした生クリームと混ぜ、型に流す。

塩キャラメルソース

●グラニュー糖……300g ●生クリーム(35%)……300g ●無塩バター……80g ●塩……5g

- ①鍋にグラニュー糖を入れて火にかけ、色づいたら火を止める。
- ②温めた生クリームを少量ずつ(数回)で加える。
- ③バターと塩を加えて常温で冷ます。

ラングドシャ

●有塩バター……60g ●粉砂糖……60g ●卵白……60g ●薄力粉……60g

- ①室温に戻したバターをボマード状にし、粉砂糖を数回に分けて加える。
- ②少量ずつ卵白を加えて混ぜる。
- ③薄力粉をふるってから加え、しっかり混ぜる。
- ④天板に絞り、180℃のオーブンで10分焼成する。

●伊勢新聞パール倶楽部 役員あいさつ



会 長 中川千恵子

三重の県紙「伊勢新聞」しかできない、情報、紙面、ネットワークを生かし、女性の交流によって、「人」と「地域」に元気を与えていきます。伊勢新聞パール倶楽部が会員皆様の成功や成長の場となれば幸いです。



副会長 小笠原まさ子

看板屋を営む、自称「看板娘」の小笠原でございます。今後とも会員の皆様と楽しみ、共に伊勢新聞パール倶楽部を育てて行きたいと考えています。



副会長 水谷太美

松阪で養蜂業を営む「女王蜂」こと、水谷でございます。蜜蜂のように未来へ向かって飛躍する伊勢新聞パール倶楽部に期待しています。



専務理事 土川禮子

三重県生活文化部女性政策審議監を務めていた時から、伊勢新聞を愛読しております。素晴らしい伊勢新聞パール倶楽部を作っていきます。



理 事 儀賀美智子

現代社会では女性が活躍する場は用意されているが活躍しにくい雰囲気がございます。伊勢新聞パール倶楽部が情報・見聞を深めることにより閉塞感を打破する一助となればと思います。



第一回伊勢新聞パール倶楽部役員会の模様＝津市本町、伊勢新聞社内にて

役員会報告

平成二十一年度 第一回役員会開催

十月十七日、津市本町の伊勢新聞社内にて平成二十一年度第一回伊勢新聞パール倶楽部役員会（以下役員会）が開かれた。

中川千恵子会長は冒頭あいさつで「女性が活躍する場を提供してくれた伊勢新聞社に感謝します」と述べ、小林千三代表取締役社長は「女性のパワーを活用することは地方にとって重要である。その一助となる、パール倶楽部の発展を願っています」と返答した。

役員会は終始和やかなムードで進行。

次年度の倶楽部本格運営に向け、会則や事業に重点を置いた議論が行われた。

●出席者

会長 中川千恵子
副会長 小笠原まさ子
専務理事 土川禮子
理事 儀賀美智子
代表取締役社長 小林千三

●欠席者

司会 佐飛宏尚
カメラ記事 藤田聡
副会長 水谷太美

イベント報告

自然が教えてくれた 健康と美容法

はちみつで若さ保つ 水谷養蜂園会長が講演

【津】津市本町の伊勢新聞社（小林千三社長）は十七日、同社のパール倶楽部（中川千恵子会長）の講演会を開き、松阪市松ヶ島町の水谷養蜂園水谷太美会長（パール倶楽部副会長）を講師に迎え、「自然が教えてくれた健康と美容法」と題した体験談を聞いた。

会員や一般の女性約三十人が集まり、中川会長は「地域世代業種を超えて互いに交流することで、当倶楽部の趣旨に基づく輝いた素晴らしい会にしていきたい」とあいさつ。小林社長は「現代社会で女性の活躍は目覚ましい。輝いて生きるパール倶楽部の皆さんから、今後社会に何かを発信してほしい」と語った。

水谷さん（79）は、昭和五年水谷養蜂園の一人娘として生まれ、女学校卒業後に結婚。昭和三十四年から家業の経営に加わり、国鉄の物資部にはちみつを卸すことなど大

阪、名古屋で独自の「虫除（よ）け帽子」をかぶって奔走したことなどを語った。

その後、健康法として水風呂に入る、水を飲む、美容法として水で顔や体をたたくなど、自らの若さを保つ秘訣（ひけつ）を公開した。また、美容と健康に最適なはちみつの効能や料理法などを語り、プロポリス、ローヤルゼリーの効果についても触れた。

最後に健康を保つ足腰の運動を紹介し、「私は百二十歳まで生きたいので、あらゆる菌に対応できるプロポリスやはちみつなどを取り続ける」と若々しい笑顔で語った。

（平成 21 年 10 月 18 日付 伊勢新聞掲載）



健康と美容法について講演する伊勢新聞パール倶楽部の水谷太美副会長。津市一身田上津部田、県生涯学習センター1研修室で

イベント報告

三重の街道探訪 「歴史ある町“関”を訪ねて」

情緒ある関町探訪 会員ら紅茶も学ぶ

【亀山】女性を対象にした伊勢新聞パール倶楽部（中川千恵子会長）は十一月十四日、亀山市関町で十一月のイベントを開いた。今回のテーマは「三重の街道探訪～歴史ある町“関”を訪ねて」。会員ら十八人が参加し、東海道関宿で知られる情緒あふれる町並みを訪ねた。

午前中は瑞光寺や福蔵寺などを見学しながら二時間ほどかけて探訪。午後からは英国紅茶専門店 Earl Grey（中川榮美子店長）で紅茶の入れ方を学んだ。

中川さんが紅茶はティーポットに茶葉を入れ、熱湯を高い位置から茶葉がジャンピングするように勢いよく注ぎ、三分間蒸らした後、最後の一滴までカップに注ぐことが大切と伝授。「最後の一滴を大切にすることがおいしさの秘訣（ひけつ）です」と説明した。

鈴鹿市でパン・ケーキ・パスタ教室を開いている橋本裕子さん（56）は、「Earl Greyさんは一度来てみたかったお店でした。ちょうどいい機会だったので良かった。紅茶の入れ方は勉強になりました。一日楽しかった」と話した。

（平成 21 年 11 月 15 日付 伊勢新聞掲載）



おいしい紅茶の入れ方を学ぶ参加者ら。亀山市関町の英国紅茶の店 Earl Grey で

主 場 所：関宿
主 催：株式会社伊勢新聞社

協 賛：亀山市観光協会、食事処会津屋、英国式紅茶専門店 Earl Grey

加藤一子さんは、四日市市富田で真珠・宝石販売を営む傍らお店のサロンを利用して縁談をまとめる活動をしている。30年以上にわたり200組以上の縁談をまとめ、しかも離婚した例はないという。人が幸せであるかどうかはその人が良き家庭を築けるかどうかに関心しており、その手助けをすることこそが人や社会を幸せにする最善の方法だと信じている。

最近ではタイやラオスといった東南アジアに井戸や図書館を作る活動に尽力し、子供達に良い教育を与えられるよう国際的な活動もして

「家族」をテーマに 人と社会を幸せに

いるが、これは交通事故で亡くなった息子の一郎さんが青年会議所の活動を通じてやろうとしていたことで、その遺志を継いだものだという。

先日、当時の一郎さんの青年会議所仲間達が一子さんを訪ねてきた。一郎さんの活動を記録したビデオを持参し、皆で涙を流しながら一郎さんの思い出を語ったという。

「一郎はこうしてどこかで生きている。私のやってきたことは間違いではなかったと思う。これからももっと頑張りたいですね。」

人を幸せにすることで自分も幸せになれる。そんな世の中を目指して加藤さんは今日も活動を続ける。

会員活動紹介



有限会社たましん 代表取締役

加藤一子さん

住 所：四日市市富田1丁目13-10
お問い合わせ：059(364)1644



屈託のない笑顔が魅力の陽介くん（14）＝四日市市日永の株式会社稲藤にて

いな がき よう すけ
稲 垣 陽 介 くん

職業……学生

年齢……14歳

趣味……スキー・テニス

少年の名前は稲垣陽介くん（14）。四日市市日永で伝統工芸品の日永うちわを製造する株式会社稲藤の常務取締役稲垣和美さんの三男である。現在は四日市市立南中学校で生徒会会長という大役を担っており、好きな本は『ダレン・シャン』『三國志』など。大の読書好きでもあり、文武両道という言葉が素直にあてはまる。

礼儀正しいスポーツ少年

「いつまでも子供と思っているのは親の方だけで、子供はどんどん成長しているのですね。私も子供離れなくては子供に置いていかれそうです」と和美さんは胸の内を話す。次年度は高校受験を控えており、三重県立四日市高等学校への入学を希望している。再来年の春には陽介くんが咲いているのを願うばかりである。

「いつまでも子供と思っているのは親の方だけで、子供はどんどん成長しているのですね。私も子供離れなくては子供に置いていかれそうです」と和美さんは胸の内を話す。次年度は高校受験を控えており、三重県立四日市高等学校への入学を希望している。再来年の春には陽介くんが咲いているのを願うばかりである。

「僕はきつかけを掴み一つのこととを深く掘り下げて行くタイプでしょうか。ソフトテニスで例えるならラケットのガット（糸）を見ただけで性能の違いが判ります」ソフトテニスの知識であれば同年代には誰にも負けないと陽介君は豪語する。

親バカ子自慢

連載コーナー①



連載コーナー②

音楽は人と人をつなぐ。回数を重ねる毎にそれは音楽の枠を超え、様々なひとのわを広げていった。そして今回、会場のエントランスに、「ひとのわコンサート」を通じて協力して頂いた関宿の町の皆さんへの感謝をこめて「関宿スケッチコンクール入選作品」を展示。さながら「美術館の中のコンサート」という形でコンサートを開催。音楽のジャンルも童謡、シャンソン、クラシックと幅広く、単なる楽しみでは終わらない、それぞれを少しでも深く味わえるようにプログラムを構成し、300人の観客を集めた。

「今後も地域に根をはった市民参画型文化イベントとして、ひとのわコンサートを大きくしていきたい」と、林千代さん達は次回に向けての抱負を語り合った。



左から林千鶴さん、林千代さん、牧敏代さん、広森純子さん

ひとのわコンサート(亀山市)

音楽でつなぐ“人の輪”

2009年11月3日、亀山文化会館中央コミュニティセンターで第4回「ひとのわコンサート」が開催された。今年で4回目の開催となり、これまでの市の補助金を受けずに、自力で開催することとなった。パール倶楽部会員の林千代さん、林千鶴さん、牧敏代さん、広森純子さんが運営メンバーの一員として活躍した。

「ひとのわコンサート」は「第九を愛する会」の目的でもある身近なところで、クラシック音楽会を開催し、またベートーヴェンの「第九」合唱の根底にある「全世界の人よ抱きあおう」という思いに沿って、亀山市民みんなが参加できるコンサートにしていこうと発展させてきた。

はちみつで新作おこわを開発



水谷養蜂園株式会社の蜂蜜を使用した食事処会津屋の新作おこわ＝亀山市関町の食事処会津屋にて

関の名店、食事処会津屋でおなじみの名物おこわ。パール倶楽部が縁で新作おこわの開発へとつながった。

女将・若女将の間で自由闊達な意見交換を経て開発された新作おこわは、お客さんから“おいしい”と評判。地元養蜂園の蜂蜜を使用しているという真新しさも後押しし、持ち帰り弁当の売り上げにも好影響をもたらしている。

開発時に最も苦労した点を松田若女将に聞いた。「新作おこわの甘みを以前の名物おこわの甘みと合わせる。甘みの質のみの変更にも苦労しました」と松田若女将。

新作おこわでは米に対する蜂蜜と味醂（みりん）の水分量比率（蜂蜜は固形に近く、味醂（みりん）は液体のため）がもたらす甘みの変化に苦労した。しかし、こってりした甘みを持つ味醂（みりん）に蜂蜜を独自の割合で調合することによって、新作おこわは優しい甘みを醸し出すことに成功した。

これに対し、水谷養蜂園株式会社の水谷太美会長は食事処会津屋へコメントを寄せる。

「蜂蜜に目を付けた点はさすが。蜂蜜には古米を新米のような味に変える力があります。滋賀県産の干し椎茸を使用し地元関の地下水で戻して使用するなど材料・製造方法にこだわりを持つ名物おこわに水谷養蜂園の蜂蜜が加われば正に“鬼に金棒”ですね」と水谷会長。

パール倶楽部の理念「みんながつながり、輝く」がこの瞬間に実現されたと表現しても過言ではないであろう。

食事処会津屋・水谷養蜂園株式会社

伊勢新聞パール倶楽部は会員皆様の相互交流を応援しております。
これを機にパール倶楽部を相互間交流のハブとしてご活用ください。

会員活動紹介

「笑顔になれる」がキーワード 株式会社 くじらボ

三重県で暮らす方々が笑顔になれる情報掲載を編集方針として掲げるタウン誌“月刊KUJIRA”。

株式会社くじらボの代表取締役市川さつきさんは、無料情報があふれ“いつ”“どのような場所”でも情報を得ることができるユビキタス社会到来について話す。

「インターネットから収集できる無料情報は今後も増える。有料ゆえんの情報密度・高さを追求し、読者が欲する情報に対してアンテナを張り続ける」

株式会社くじらボは月刊 KUJIRA の前身に位置するミニコミ誌（フリーペーパー）

廃刊時、既存読者へ迷惑をかける急な廃刊を回避したい思いから市川代表取締役と残ったスタッフ数名で平成2年3月18日設立され、前誌とは形を変えた有代誌として再スタートをきった。

「KUJIRA という名前には北勢地域で盛んな鯨漁の豊漁祭から由来しております。今後も町を回遊しながら大きく優しく情報収集を行いたい」と同氏は話す。

同社は平成22年3月18日をもって、創刊20周年の節目を迎える。

今後も北勢地域を中心とした幅広い世帯に読み続けられることであろう。



住 所 四日市市西坂部町3800-1
お問い合わせ 059(334)7531
営 業 時 間 9:30~17:30
定 休 日 土・日・祝日
U R L <http://www.kujimag.com/>

ランドセルに願いを込めて 株式会社 タケコシ商事

昭和21年7月14日。JR四日市駅から西へ伸びるメインストリート。まだ、市内に近鉄線が通っていない時代、株式会社タケコシ商事は産声をあげる。

「成長期にある子供達の体に負担のかからないランドセルを提供し続けたい」とランドセルへ願いを込め、人の温かみを子供達へ伝え続けるのは代表取締役社長の竹腰葵さん。

同社では、昔使用していたランドセルを解体し一から組みなおすメモリアルランドセルが人気を博している。

ミニチュアではあるが、6年間学習を共にした作り物ではない昔懐かしさを体感す

ることができ、喜びもひとしおである。

オートメーション化された現代社会、下請けには出さず全て自社にて手作業で行っている点も嬉しい。

「今はチェーン店でもランドセルを扱う時代。学習道具を買いに行くついでに買われてしまうのは寂しいですね」と話す。

人と人との関係が希薄な時代、買い手・売り手それぞれの顔が見える商売の原点回帰、すなわち安心・信頼を求められる時代の到来を期待する。

*竹腰氏は社長業の傍らFMよっかいちでパーソナリティ（人に巡り会う旅 火曜日 20時より20時20分）としても活躍中。Webでも試聴できます。 <http://www.p-wave.ne.jp> 「サイマルラジオ」へアクセス。



住 所 四日市市諏訪町10-14
お問い合わせ 059(352)3348
営 業 時 間 10:00~18:30
定 休 日 9月~3月は年中無休
4月~8月は日曜日
U R L <http://takekoshi-mie.com/>

個別店舗の魅力と文化力の 向上が商店街活性化の鍵

有限会社 トヨダカメラ

亀山市東町商店街に店舗を構える、有限会社トヨダカメラは取締役豊田美保さんの亡父行生（ゆきお）さんが昭和22年に設立。スタジオ撮影・カメラ販売・DPE（フィルムの現像・焼付け・引き伸ばし）の三本柱をメインに営業活動を行う。「設立当初は卒業アルバムがなく、名刺代わりに渡す交換写真が流行していたこともあり、若い方の写真を撮影する機会が多かったですね」と同氏は当時を振り返る。

客層は時代によって変動する。第二名神高速が亀山へ開通した際には、高速道路の現場写真をプリントする依頼が多かったという。

近年、亀山市近隣消費者は郊外型の大型店舗で買い物をすませる傾向が顕著になってきたが、今後の地元商店街のあり方について同氏は語る。

「地元活性化のために個々の店舗の魅力を發揮して商店街を守っていこうという気持ちは何よりも重要」

現状を打破すべく、亀山市東町商店街で天空のまちでアートとアソブと銘打つイベントを開催した。アートによる街づくりが商店街の活性化に一役かっていることは間違いない。“亀山に来たら美術に出会える”を旗印に、まず地元商店街から活気を取り戻し、店の活性化へとつなげて行きたい。



住 所 亀山市東町1丁目6-10
お問い合わせ 0595(82)0425
営 業 時 間 9:00~19:30
定 休 日 水曜日
亀山エコー店は不定休
(基本は木曜日)

亡父行生（ゆきお）さんが愛用したMAMYA社の二眼レフと美保さん

ビューティーコンサルタント 林かつの

伊勢志摩
魅力再発見！

vol.2

こんにちは。＼伊勢志摩の癒しのパワーで もっとキレイに健康に！＼をコンセプトに地元の人々や観光客に美容と健康のアドバイスをしている林かつです。

このコーナーの第2回目は、平成21年6月にご当地バーガー、「とばーがー」として認定された「じゃコロッケバーガー」の誕生秘話についてお話ししましょう。

「じゃコロッケバーガー」は、伊勢湾の入り口に浮かぶ鳥羽・答志島の旅館「潮風の宿やま七」で開発された、ライスバーガーです。この「じゃコロッケバーガー」ができたきっかけをお話します。平成16年9月の台風被害で島の港に流木がたくさん流れ着きました。その流木を活用してこの宿の大旦那さんが手作りの足湯を作ったんですね。名づけて「へーふり坂峠のエコ足湯」。(なぜ「へーふり坂峠」なのかは、お宿の方に聞いてみてくださいね。)

さて、島散策に疲れた頃、ちよつどこの足湯につかりながら食べられるこの島ならではのメニューがあればと考えて作られたのが、まず島の特産品である「ちりめんじゃこ」を使った「ちりめんじゃコロッケ」です。このコロッケは、甘辛く煮たじゃこの佃煮を具に入れ外側にはじゃこをカリッと焼い

てパン粉にまぶした衣が特徴。「この土地ならではの」ということにこだわって作ったコロッケです。TV番組の「ご当地コロッケ選手権」のグランプリに選ばれました。ちよつとしたおやつとして、島散策をしながらも食べられますが、もう少しバリエーションアップして、ランチメニューに応用できないか、ということになり、「これをハンバーガーにしてみたら」ということになりました。

しかし、島ではパンを常に確保するのは難しい。そこで、宿では常にある「ご飯」を使ってライスバーガーにすればいいと。こついった背景があつてとばーがー「じゃコロッケバーガー」が生まれました。価格も感謝の気持ちを含めてサンキュー価格の「390円」。とばーがーは、現地でしか食べられません。じゃコロッケは送ってもらえます。「ピンチをチャンスに」というエッセンスがたくさん含まれたコロッケとバーガー。是非一度食べてみてくださいね。



じゃコロッケバーガー

プロフィール

● 林 かつ

鳥羽市在住。伊勢市出身、伊勢高校卒。ビューティーコンサルタント、ヨガインストラクター、レイキヒーラー、お宿アドバイザーとして伊勢志摩地域で活躍中。伯父は宇治山田商業高校卒、元読売巨人軍ピッチャーで現・JR東海ピッチングコーチ中村稔氏。

パール倶楽部イベントのお知らせ

●伊勢新聞パール倶楽部 親睦会へのお誘い

店	舗:	力士料理&居酒屋 金鍋
日	時:	平成22年1月29日(金) 18:00~19:30
場	所:	津市南丸之内9-43
内	容:	親睦会
会	費:	3,000円(通常4,000円のちゃんこ鍋コース)
協	賛:	力士料理&居酒屋 金鍋

大島部屋にも顔が利く女将の平松佐智恵さんが魅力的。普段のイベントでは懇親会の時間が短いとお叱りがあったこともあり、今回は親睦会をみのイベントを開催いたします。この機会に是非ご参加ください。

●大人気の津都ホテル スイーツランチバイキング& 津観音さん見学

日	時:	平成22年2月27日(土) 11:30~15:00
場	所:	津都ホテル、恵日山観音寺(ともに津市大門)
受	付:	11時より津都ホテル2階アゼリア前
内	容:	①津都ホテルスイーツランチバイキング (11:30~13:00) ②日本三大観音の一つ津観音さんの見学と住職・岩鶴密雄氏の講演『三重の文化力』(60分) (13:30~15:00)

伊勢新聞社事業のお知らせ

●伊勢新聞政経懇話会新春特別例会 「三重県新年の集い」

日	時:	平成22年1月8日(金) 13:30~16:00
第一部 講演会 「この時代の峠から展望する~この国のあり方、常若の美し国三重~」 講師 三重県知事 野呂昭彦氏		
第二部 賀詞交換会 15:00~		
会	費:	講演会……無料(パール倶楽部特典) 賀詞交換会……8,400円
会	場:	講演会……津都ホテル5階伊勢の間 賀詞交換会……津センターバレスホール
お問い合わせ: 伊勢新聞社事業部		
申 込	先:	同封の案内状に必要事項をご記入の上FAXにてお申込下さい

●「肥満予防健康管理士」 (ダイエットアドバイザー) 資格講座

日 時:	平成22年1月23日から3月20日までの隔週土曜日10:00～17:00 認定試験は3月27日
会 場:	伊勢新聞本社2階会議室(津市本町34番6号)
受 講 料:	68,000円(テキスト代、受講料含む。分割払い可)
主 催:	株式会社伊勢新聞社
後 援:	日本肥満予防健康協会
認 定 団 体:	厚生労働省認可社団法人企業福祉・共済研究所
お問い合わせ:	伊勢新聞社事業部
申 込 先:	ご希望の方には資料をお送りします。



伊勢新聞パール倶楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町34番6号 株式会社伊勢新聞社事業部内
TEL:059(224)0003 FAX:059(226)3554
HP: <http://www.isenp.co.jp/plc/>

●メルマガについて

伊勢新聞パール倶楽部事務局は『PearlClub Magazine (以下メルマガ)』と銘打つメルマガを9月17日より月1回第3水曜日に各会員様へお届けしております。まだ、メルマガがお手元に届いていない方・メルマガの存在を初めて知った方は伊勢新聞パール倶楽部事務局又は pearl@isenp.co.jp へご一報ください。その他意見も受け付けております。

●編集後記

毎年、冬将軍という言葉を開きます。いわゆるシベリア寒気団という厄介なやつが日本列島を襲い三寒四温をもたらします。これからより一層寒くなり布団からは出るのがより億劫になりますよね。さて、伊勢新聞パール倶楽部では次年度の計画立案で大忙しでございます。今回のパール通信 Vol.2 はパール倶楽部関連業務とその他個人的に抱える業務の合間を縫って作り上げた号になります。次年度は会員総数が100名を越えた伊勢新聞パール倶楽部の飛躍の年となるよう心から切に願っております。また、会員名簿の作成も考えておりますので各会員の交流がよりスムーズになることこの上なでございます。

伊勢新聞パール倶楽部事務局 藤田